

【学校教育目標】知・徳・体の調和がとれ、主体的・協働的に行動できる子どもの育成



学校だより

鈴鹿市立愛宕小学校

令和5年3月1日

No. 30



図書館には色々なジャンルの本があります ～様々な読書の楽しみ方～

◆図書館まつり(1月29日～2月2日)

図書委員会による「図書館まつり」が行われました。

図書館の本は、ジャンルごとに0類から9類に分かれています。今回の取組では、1～9の数字が書いてあるビンゴカードを使い、読んだ本のジャンルの数字をチェックしていきます。ビンゴになったら、図書委員の児童が作った「しおり」がプレゼントされます。この機会に、あまり興味がないジャンルの本も手にとり、読書の幅を広げてもらえたらと思いました。

貸出冊数も現時点で昨年度の冊数を超える状況です。これからも、図書館に足を運び、お気に入りの本を見つけていってください。



◆異学年によるリーディングバディ(2月7日)



1年・6年、2年・4年、3年・5年ペアを組み、高学年児童が低学年児童に、本を読み聞かせしました。

高学年児童は、事前に低学年の子どもたちが喜びそうな本を選び、読み聞かせの練習をして当日を迎えました。異学年児童が寄り添って本を読んでいる姿は、本当に微笑ましいものです。教室が優しい雰囲気であふれ、心温まる時間となりました。

◆読み聞かせボランティア様による朝の読み聞かせ



3学期も毎週火曜日に、読み聞かせをしていただいています。2月6日の6年A組の読み聞かせは、谷川俊太郎さんの詩「生きる」を絵本を見ながら聞かせていただきました。何気ないありきたりの日常が描かれた挿絵を見ながら、「生きる」こと



の尊さや素晴らしさを訴える作者の強いメッセージが伝わってきました。卒業を前に、「今」を生きる子どもたちが、日頃はことさらに意識することのない視点で、自分の今後の人生を見つめようという気持ちになったのではないのでしょうか。

◆6年生鈴鹿にも戦争があった(1月30日)～浅尾 悟先生からお話を聞きました～

元公立中学校社会科教員の浅尾先生に「鈴鹿市にも戦争があった」というテーマでお話を聞かせていただきました。満州事変(1931)・日中戦争(1937)・太平洋戦争(1941)と進む中で、1942年12月1日に鈴鹿市が誕生しました。そして、軍の意向で、市内に鈴鹿海軍工廠をはじめ、鈴鹿海軍航空隊、三菱重工業など、数多くの軍の施設が建設されたそうです。「軍都・鈴鹿」と言われる所以です。



現在、世界を見渡せば戦争や紛争が絶えませんが、この愛宕の地域にも戦争の名残があることを知りました。戦争を過去の出来事、遠い国の出来事ではなく、身近なものとして捉えなおし、戦争の愚かさや平和の尊さを強く感じることができました。

◆2年生 出前授業「馬術」(2月15日) ～出張！スポーツ出前授業～



鈴鹿市スポーツ協会が行っている事業で、馬術体験を行いました。生活科「生きものとなかよくなるう」の学習の一環で、生きものとのふれ合いを通して、生きものに親しみをもち、「いのち」の大切さを学ぶことがねらいです。当日は、馬運車に乗って、3頭の馬が愛宕小学校にやってきました。

2限目はクイズを交えながら、講師の方からお話を聞きました。馬のしぐさから馬の気持ちが分かること、

一年365日欠かすことなく、食事・排せつ、体を洗う等の世話や体温測定等による体調管理に気を配っていることについて教えていただき、命ある生きものへの思いやりやコミュニケーションの大切さを学びました。3～4限目は、運動場で乗馬体験をしました。どの子どもも満悦でした。馬から降りると、名残惜しそうにいつまでも馬の頬をそおと撫でている子もいました。日常を忘れ、馬との楽しいふれあいの時間となりました。

